

《参考資料》

「他のグループと交流し合いながら即興的に踊る」活動とは・・・

- ◆振り付けや順番を考えて踊る定形のものではありません。
- ◆リズムに触発されて即興的に動くことで生み出されたお気に入りの動きを積み上げていく活動です。
- ◆踊るたびに違う動きが見られることとなりますが、繰り返し踊る中で、グループのお気に入りの動きは残しつつ、新たな動きや変化のつけ方を加えていきます。
- ◆交流会では、そのお気に入りの動きのおもしろさを他のグループと教え合ったり、動きを交換し合ったりして交流させることが、リズムダンスのおもしろさを広げ、動きも確かにしていくこととなります。



【学習カードの例】（第3時～第6時）

「リズムで交流！-ロックやサンバから好きなリズム（曲）を選んで-」学習カード

月 日（ ） 時間目 年 組 名前〔 〕

◆今日選んだリズムと曲名

◆学習を振り返って ◎…大変よくできた ○…よくできた △…もう少し

☆ 今日のリズムダンスは楽しかった。	
☆ リズムのとくちょうをとらえて、全身でおどれた。	
☆ 動きの変化をつけて1曲通しておどれた。	
☆ 自分から進んで、リズムダンスを楽しんだ。	
☆ 自分のチームや交流チームのだれとでもおどれた。	
☆ リズムへののり方のコツが分かった。	
☆ 新しい動きや変化の付け方を取り入れることができた。	

◆本日のお気に入りの動き

◆交流チームのよかった動き

◆感そう

第5学年及び第6学年 「表現」(はじめの段階)

対決！(激しい攻防・追いつ追われつの表現)

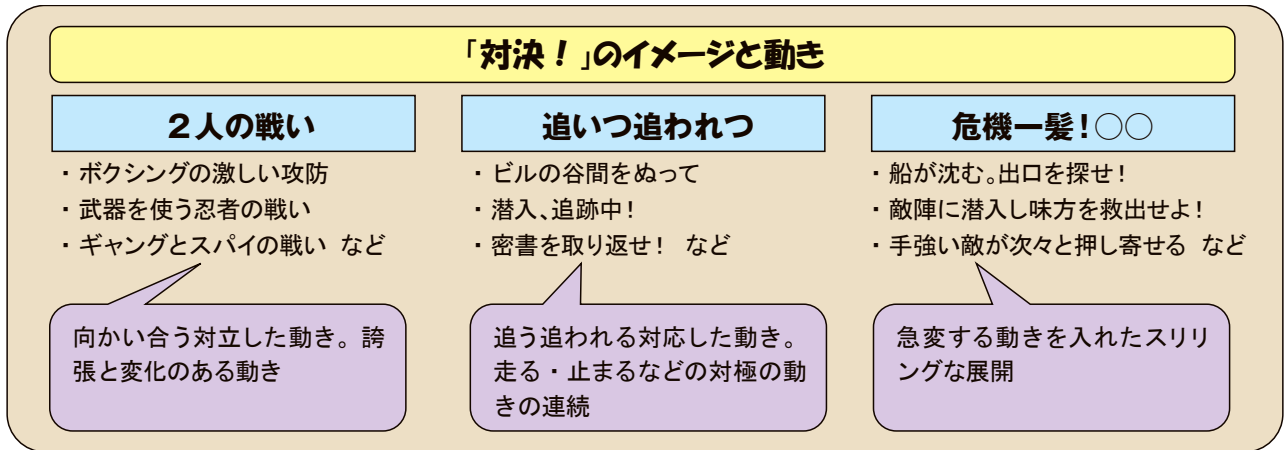
1 授業の基本的な構想

(1) 授業のねらい

この単元は、高学年における表現の「はじめの段階」を想定しています。高学年の表現では、表したい感じやイメージを強調するように、変化を付けたひと流れの動きで即興的に表現したり、グループで「はじめ-なか-おわり」を付けた簡単なひとまとまりの動きにして表現したりすることを楽しむことができますようにします。

そこで、本単元では、高学年の児童の発達段階を考慮し、2人組を中心に、激しい感じを変化と起伏のある動きにしやすい「対決！」を取り上げています。「対決！」の表現のおもしろさは、2人の対決や追いつ追われつなどからイメージをひろげ、対決のダイナミックでスリリングな様子を変化と起伏のある表現にしていくところにあります。このような激しい攻防や追いつ追われつの表現のおもしろさを学習できるようにすることが大切です。

《どんな題材を・どんな動きで》

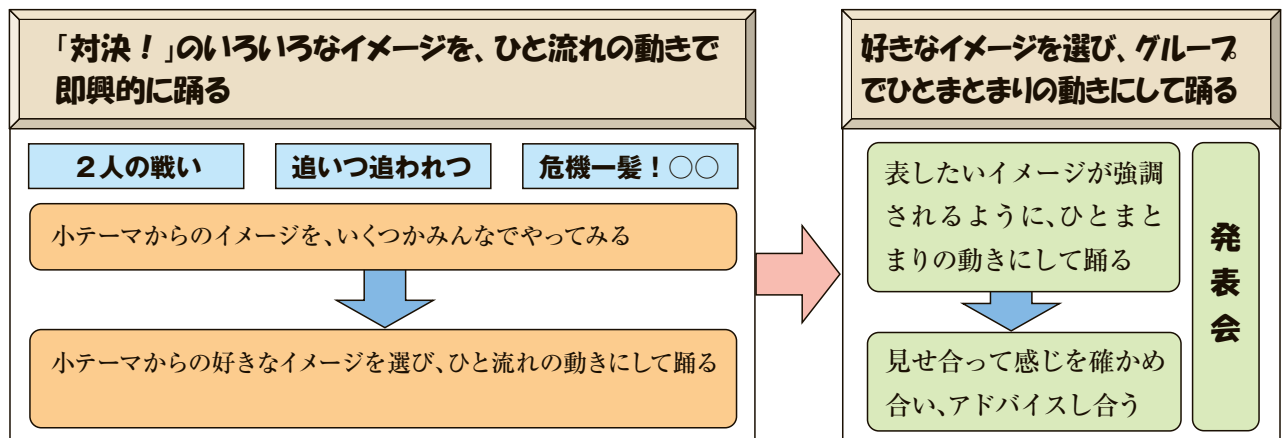


(2) 授業づくりの考え方

高学年の児童は、好みが多様化、個別化し、変化と起伏のある個性的な表現を志向する一方で、踊ることに対する恥ずかしさや抵抗感が大きくなる時期です。そこで、毎時間の導入では、心と体を十分にほぐす運動を取り入れ、いつのまにか表現や踊りの世界に入っていける工夫が大切です。

単元前半では、「対決！」からイメージをひろげ、毎時間小テーマを設定していろいろなイメージを即興的にひと流れの動きにして踊るおもしろさを十分に味わうことができるようにすることがポイントです。単元後半では、表したいイメージ別グループに分かれて、変化と起伏のある動きでひとまとまりの動きにして踊ることを楽しむことができるようにするとともに、単元の最後には、グループごとに作ったひとまとまりの動きを発表会で見せ合って楽しめるようにしていきます。

《どのように学習を進めるのか》



2 単元の目標

- (1) 「対決！」から表したいイメージを捉え、即興的な表現や簡単なひとままとりの表現で踊ることができるようにする。 (技能)
- (2) 「対決！」の表現に進んで取り組み、互いの動きのよさを認め合い助け合って練習や発表をしたり、場の安全に気を配ったりすることができるようにする。 (態度)
- (3) 課題解決の仕方や自分のグループのよさを知るとともに、自分やグループの課題に応じた動きを選んだり、自分やグループのよさを生かす動きを見付けたりすることができるようにする。 (思考・判断)

3 単元の評価規準 () は第6学年

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ●「対決！」の表したい感じを表現して踊る楽しさや喜びに触れることができるよう、表現に進んで取り組もうとしている。 ●約束を守り、友達と助け合って練習や発表をしようとしている。 ●運動する場の安全を保持することに気を配ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●課題の解決の仕方を知るとともに、自分やグループの課題に応じた動きを選んだり構成を変えたりしている。 ●自分やグループのよさを知るとともに、練習や発表会で自分やグループのよさを生かす動きを見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「対決！」から表したいイメージを捉え、即興的な表現や簡単なひとままとりの表現で踊ることができる。
学習活動に即した評価規準	<ol style="list-style-type: none"> ①「対決！」の表現に進んで取り組もうとしている。 ②互いのよさを認め合い、助け合って、練習や発表をしようとしている。 ③練習や発表する場の安全に気を配ろうとしている。 	<ol style="list-style-type: none"> ①「対決！」のイメージから対決の特徴的な動きを(いろいろ)見付け自分の動きに取り入れている。 ②気に入った「対決！」のイメージを選び、表したい感じを強調できるように、動きに変化と起伏をつけ(たり、群の動きを工夫したり)て動きや動き方を工夫している。 	<ol style="list-style-type: none"> ①「対決！」からいろいろなイメージをとらえ、ひと流れの動きで即興的に踊ることができる。 ②気に入った「対決！」のイメージの表したい感じを強調するように、「はじめ-なか-おわり」を付けた簡単なひとままとりの動きにして(感じを込めて)踊ることができる。







表現の導入はリズムに乗って心と体をほぐしてダンスにスイッチ・オン!



2人の戦い

4 指導と評価の計画（例）

対決！（激しい攻防・追いつ追われつの表現）

学習の段階		「対決！」のいろいろなイメージを、ひと流れの動きで即興的に踊る。						
毎時間の小テーマ		オリエンテーション	2人の戦い	追いつ追われつ	危機一髪！○○			
時 数		1	2 ~ 4					
一時間の学習の流れ 第五学年	0	1 学習課題の確認 2 心と体をほぐす。	1 心と体をほぐす。 2 学習課題の確認。「いろいろな『対決！』のイメージを即興的に踊ろう。」					
	10		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; background-color: #e0f2f1;">3 小テーマからの特徴的な場面や動きをいくつかみんなで作ってみる。</p> <p>○教師のリードで急変する場面を入れながら即興的に踊る。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 33%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ボクシングの攻防 ・忍者の戦い ・ギャングとスパイ </td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 33%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ビルの谷間をぬって ・潜入、追跡中！ ・密書を取り返せ！ </td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 33%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・船が沈む。出口を探せ！ ・味方を救出せよ！ ・手強い敵が次々と！ </td> </tr> </table> </div>			<ul style="list-style-type: none"> ・ボクシングの攻防 ・忍者の戦い ・ギャングとスパイ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビルの谷間をぬって ・潜入、追跡中！ ・密書を取り返せ！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・船が沈む。出口を探せ！ ・味方を救出せよ！ ・手強い敵が次々と！
	<ul style="list-style-type: none"> ・ボクシングの攻防 ・忍者の戦い ・ギャングとスパイ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビルの谷間をぬって ・潜入、追跡中！ ・密書を取り返せ！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・船が沈む。出口を探せ！ ・味方を救出せよ！ ・手強い敵が次々と！ 					
	20	3 「対決！」からイメージすることを出し合う。 4 学習の進め方を知る。	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30%;"> <p>★向かい合う対立したオーバーアクションの動き。</p> <p>★跳んだり転がったり隠れたりスローモーションを入れたり変化をつけて。</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30%;"> <p>★追う追われるに対応した動き。</p> <p>★素早い動きと止まる動きなどの対極の動きの連続。</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30%;"> <p>★人数を増やした戦いや追いつ追われつと組み合わせる。</p> <p>★急変する動きを入れたスリリングな展開にして。</p> </div> </div>					
	30	5 出し合ったイメージの中から、いくつか選んで即興的に踊ってみる。 6 やってみたいの感想を出し合い、学習の見通しを持つ。	<div style="border: 1px solid #c0c0e0; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">4 小テーマから好きなイメージを選び、ひと流れの動きにして踊る。</p> <p>○2人組で好きなイメージを選び、激しい感じや急変する感じをダイナミックでスリリングな動きにして即興的に踊る。</p> <p>○人数を4人組に増やしてリーダーを変えながら即興的に踊る。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; background-color: #ffe0b2;">ボクシングの攻防だ！相手の動きに動きで反応して</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; background-color: #ffe0b2;">追跡！</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; background-color: #ffe0b2;">出口はどこだ！</div> </div>					
	40	5 一番気に入ったひと流れの動きを見せ合う。	5 一番気に入ったひと流れの動きを見せ合う。					
45	6 学習のまとめをする。	6 学習のまとめをする。						
評価の観点	運動への関心・意欲・態度	③ (観察)	① (観察・学習カード)					
	運動についての思考・判断			① (観察・学習カード)				
	運動の技能				① (観察)			

表現 第5学年 (7時間)

好きなイメージを選び、グループでひとまとまりの動きにして踊る。

5 ~ 7

- 1 心と体をほぐす。
- 2 学習課題の確認。「表したいイメージが強調されるように動きを工夫して踊ろう。」

- 3 表したいイメージ別にグループを作る。(5時目)
- 3 グループの課題を確認する。(6時目、7時目)

4 表したいイメージが強調されるように、ひとまとまりの動きにして踊る。

○「はじめーなかーおわり」の三つの場面でひとまとまりの動きを考える。

○一番表したい場面が強調されるように工夫する。

(工夫のポイント例)

- ◆印象的な動きを繰り返す。
- ◆激しい部分が際立つように、緩急を付ける。
- ◆余分なところはカットし、長く創りすぎない。
- ◆ラストを印象的にする。
- ◆表したいイメージが伝わりやすいタイトルを考える。



出口を探せ

5 見せ合って感じを確かめ合い、アドバイスし合う。

6 学習のまとめをする。

5 発表会の進め方を知る
(メドレー形式の発表会)

・対決にふさわしい曲を流したまま、出て行って踊り、ラスト5秒止まってから次のグループと入れ替わっていく。

・グループが入れかわるところでタイトルと見所を紹介する。

6 発表会をする。

7 感想を出し合い、単元のまとめをする。

②
(観察・学習カード)

②
(観察・学習カード)

②
(観察)





5 本時の目標と展開

【第5学年表現 「対決！ - 2人の戦い -」 2 / 7時間】

(1) 本時の目標

- 「2人の戦い」から、いろいろなイメージを捉え、ひと流れの動きで即興的に踊ることができるようにする。 (技能)
- 「2人の戦い」の表現に進んで取り組むことができるようにする。 (態度)
- 「2人の戦い」のイメージから特徴的な動きを見付け、自分の動きに取り入れることができるようにする。 (思考・判断)

(2) 展開 ※ 本時では、運動の関心・意欲・態度を主として評価する。

	主なねらい・学習活動	教師の働きかけ・評価 (☆)
はじめ10分	1 心と体をほぐす。 ・体育館を自由に走ったり止まったりする。 ・軽快なリズムの曲に乗って踊る。 2 本時の学習課題を確認する。 いろいろな「2人の戦い」を踊ろう。	・空いている空間を見付けて自由に走る - 跳ぶ - 転がる - 見たこともない形でピタッと止まるを繰り返したり、軽快な曲に乗ってリーダーの真似をしながら踊ったりすることで、心と体をほぐすことができるようにする。 ・おおげさな動きで迫力や緊迫感のある「2人の戦い」を表現して踊ることを確認する。
なか	3 「ボクシングの激しい攻防」を、おおげさで変化のある動きでやってみる。  <p>強烈パンチでやられた～!</p>   <p>スローモーションだと顔の表情までしっかり表現できる!</p> <p>大きく動けるよう、2人の間の距離をしっかりとって。</p> <p>真剣勝負！相手の動きに動きでしっかり反応して。</p> <p>スローモーションで、より激しい攻防を強調して。</p>	・実際に体に触れずに、戦っているように見せる表現の仕方や、その動きの変化のさせ方（スローモーションやストップ・コマ送りなど）を、教師の言葉かけで全員がやってみる。
30分	4 2人組でリーダーを交代しながら、いろいろな「2人の戦い」を思いつくままひと流れの動きにして踊る。  <p>「忍者の対決」しゅりけんで攻撃をひらりとかわすぞ。</p> 5 一番気に入った「2人の戦い」を「はじめとおわり」をつけたひと流れの動きにし、半分に分かれて見せ合う。	・戦いの場面を突然スローモーションにしたり、コマ送りにしたりすると、さらにおもしろくなりそうであることを確認してから活動に入る。 ・おおげさな動きでダイナミックな動きをしている2人組や動きに変化をつけている2人組を称揚することで、その良さを全体に広げる。 ☆「2人の戦い」の表現に進んで取り組もうとしている。 【運動への態度①】 (観察・学習カード)
まとめ5分	6 学習のまとめをする。	・いろいろな「2人の戦い」をイメージして踊れたかを振り返り本時のまとめをする。